

2022年4月

JETRO

テキサス州 ビジネスの魅力ガイド

State of Texas

The Texas state capitol, Austin, Texas

ドーム型議事堂では高さ全米1位、「Everything is Bigger in Texas」の象徴、
州議会議事堂、テキサス州オースティン

目次

Table of Contents

はじめに	3
全米ランキング	4
基本情報	5
経済	
概況	7
主要産業	9
企業	14
投資インセンティブ	15
高等教育／特許	17
スタートアップ	19
ライフスタイル	20

テキサス州経済の魅力 動画で早わかり

テキサス州のグレッグ・アボット知事、アドリアナ・クルーズ州知事室経済開発・観光局長が、テキサス州でのビジネスの魅力をも日本の方々に向けて語ります！



59.1%増

テキサス州の2040年までの人口増加率は2010年比で59.1%増の全米1位
(バージニア大学人口動態研究グループ予測)

【免責事項】

当レポートは、日本貿易振興機構（ジェトロ）ヒューストン事務所が米国調査会社Washington CORE, L.L.C.の協力を得て制作しました。原則2021年3月時点で入手した情報に基づきますが、一部統計等2021年末までに判明した情報を加えています。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、当レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロは一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

はじめに

Preface

テキサス州への投資の魅力

テキサス州は人口増加率や雇用創出数において全米をリードする米経済の中核州である。経済規模は全米2位で、同州を国と捉えれば、経済規模はカナダを上回る世界9位に相当する。米国大陸の東西の中間に位置し、充実した道路、空港インフラを使って国内の多くの都市に日帰り出張が可能である。港湾も含めグローバル市場へのアクセスにも優れている。

地の利、インフラの充実に加え、法人所得税と個人所得税がゼロ、労働力の豊富さ、法規制の明確さ、電力料金や土地、不動産価格の低廉さ、土地の利用制限の少なさ、事業経費や従業員の生活コストを節約できることなどの利点から、米国で最もビジネスに適した州と評される。

実際に多くの企業がテキサス州を本拠とし、事業を拡張し、さらに他州から移転してきている。テキサス州にはフォーチュン500企業のうち50社が本社を構え、サイトセレクション誌が認定する全米の新規・拡張投資案件数でテキサス州は9年連続で1位に認定された。

テキサス州の主力産業と言えば州経済の3割を占めると言われる石油ガス産業である。ただし、テキサス経済は、その他にも自動車や半導体など先端製造業から航空宇宙、通信、金融、バイオ・ライフサイエンス、IT、再エネまで、実に多様な産業構造で彩られる。

同州には、産業界で活躍する優れた人材を輩出する機関として、ライス大学（Rice University）やテキサス大学オースティン校（University of Texas at Austin）など全米トップクラスの大学やコミュニティカレッジがあり、またインキュベーション施設やアクセラレータ、ベンチャー投資機関も整ってきていて起業家支援環境も整ってきている。



全米ランキング

Top Rankings in the United States

テキサス州は、様々な経済・社会指標ランキングで頻繁に上位につける米国南部最大の経済圏である。

1位

2020年 全米州別輸出額 19年連続

(2021年2月U.S. Census Bureau)

1位

2020年 全米ビジネスに最も適した州 8年連続

(2020年10月International Economic Development Council : IEDC)

1位

2020年 全米ビジネスに最も適した州 16年連続

(2020年6月Chief Executive Magazine)

1位

2019年 米国州別GDP成長率

(2020年4月U.S. Bureau of Economic Analysis)

1位

2018年 全米成長期待度の高い州

(2018年11月Forbes)

ステート・オブ・ザ・イヤー

2019年 (2020年2月 Business Facilities)

1位

2018年～2019年 全米州別人口増加数

(2019年12月U.S. Census Bureau)

1位

2019年 全米法人税環境に優れた州 3年連続

(2019年Area Development)

1位

2018年 全米ビジネスコストの低い州 3年連続

(2018年Area Development)

1位

2018年 全米労働環境の競争力が高い州

(2018年Area Development)

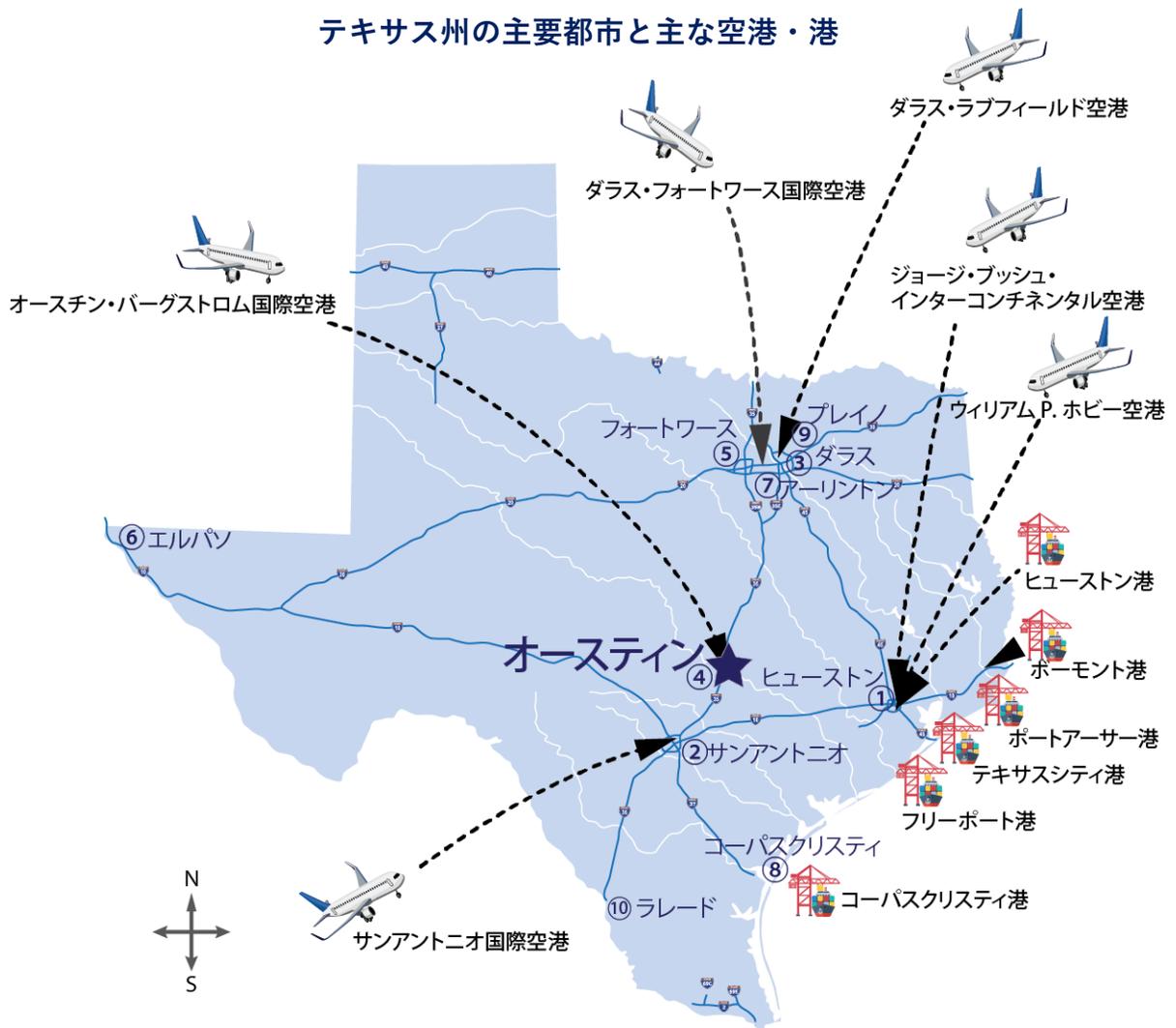
基本情報

Basic Information

テキサス州（州都：オースティン）は米国南部に位置し、メキシコとの国境に接する。カリフォルニア州に続き全米第2位の人口は増加を続けており、同州の経済成長の原動力にもなっている。



テキサス州の主要都市と主な空港・港



凡例

-  州都
-  北米空港旅客利用者数ランキング2019 - トップ50に含まれる空港
-  米国港湾取扱量ランキング2018 - トップ50に含まれる港湾
- ①～⑩ テキサス州人口ランキング上位10都市（米国国勢調査局：2019年）

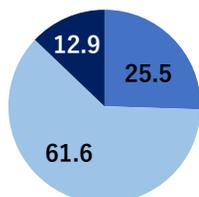
テキサス州人口（単位：人）

人口*	テキサス州	米国全体
2010年	25,146,091	308,758,105
2019年	28,995,881	328,239,523
人口増減率（%）	15.3	6.3

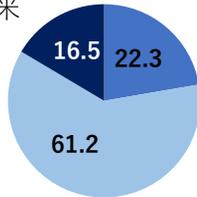
*米国国勢調査局
2010年4月1日時点
2019年7月1日時点の推計
以下データは特記無い限り
同局

テキサス州と全米の人口に占める年齢別内訳（2019年、単位：%）

テキサス州



全米



■ 年齢18歳未満
■ 年齢18歳以上65歳未満
■ 年齢65歳以上

テキサス州と全米の人種構成（単位：%、2019年）

人種	テキサス州	米国全体
白人	78.7	76.3
黒人（アフリカ系アメリカ人）	12.9	13.4
アメリカ先住民とアラスカ先住民	1.0	1.3
アジア人	5.2	5.9
ハワイ先住民とその他太平洋諸島の住民	0.1	0.2
2種類以上の人種	2.1	2.8
ヒスパニック（ラテンアメリカ人）	39.7	18.5
白人（ヒスパニック〔ラテンアメリカ人〕以外）	41.2	60.1

テキサス州と全米の25歳以上に占める高卒・大卒率（調査期間：2015～19年）

	テキサス州	米国
25歳以上の高卒率	83.7%	88.0%
25歳以上の大卒率	29.9%	32.1%

テキサス州 知事、連邦議員

州知事：グレッグ・アボット（Gregg Abbott 共和党）

※現在2期目、任期は2023年1月17日迄。テキサス州知事には再選の回数制限は無い。

連邦上院議員：ジョン・コーニン（John Cornyn 共和党）、テッド・クルーズ（Ted Cruz 共和党）

連邦下院議員：定数36。共和党23議席、民主党13議席 ※2022年11月中間選挙で定数38に増加

日本－テキサス州関係

- ・在ヒューストン日本国総領事館管轄 在ダラス日本国名誉領事 七条 恒（Dr. Hisashi Shichijo）
- ・アメリカ州政府協会在日事務所：テキサス日本事務所 渡邊 博之 代表
- ・在留邦人数 1万2,205人（2020年10月1日時点 総領事館調）
- ・姉妹都市：宮城県仙台市-ダラス市、宮城県登米市-サウスレイク市、群馬県みなかみ町-ハンツビル市、千葉県千葉市-ヒューストン市、千葉県八千代市-タイラー市、神奈川県横須賀市-コーパスクリスティ市、神奈川県秦野市-パサデナ市、新潟県新潟市-ガルベストーン市、新潟県長野市-フォートワース市、熊本県熊本市-サンアントニオ市、大分県大分市-オースティン市、大分県別府市-ポーモン市、宮崎県えびの市-ベルトン市、鹿児島県奄美市-ナカドゥチェス市

経済一概況

Economy



テキサス州の経済成長（2019年）

GDP	テキサス州	米国全体
名目GDP（百万ドル）	1,863,953	21,372,582

《参考》カナダの名目GDP（2019年）1,741,580百万ドル

データ：米国経済分析局、IMF

9.2%

全米実質GDPに占めるテキサス州の割合

テキサス州の輸出入額（2019年）

輸出入額	テキサス州 （百万ドル）	米国全体 （百万ドル）
輸出額	328,453	1,642,820
輸入額	294,359	2,493,737

データ：米国経済分析局

20.1%

全米輸出額に占めるテキサス州の割合

テキサス州の世帯数と所得（2015～2019年）

世帯・所得データ	テキサス州	米国全体
世帯数	9,691,647	120,756,048
平均世帯人数	2.85	2.62
世帯所得（中央値、ドル）	61,874	62,843
貧困率（%）	13.6	10.5

データ：米国経済分析局

テキサス州の労働人口・失業者数

労働データ	2019年10月		2020年10月	
	テキサス州	米国全体	テキサス州	米国全体
労働人口（人）	14,160,862	164,965,729	14,090,912	161,890,197
失業者数（人）	497,108	5,947,932	979,099	11,195,747
失業率（%）	3.5	3.6	6.9	6.9

データ：米国労働統計局



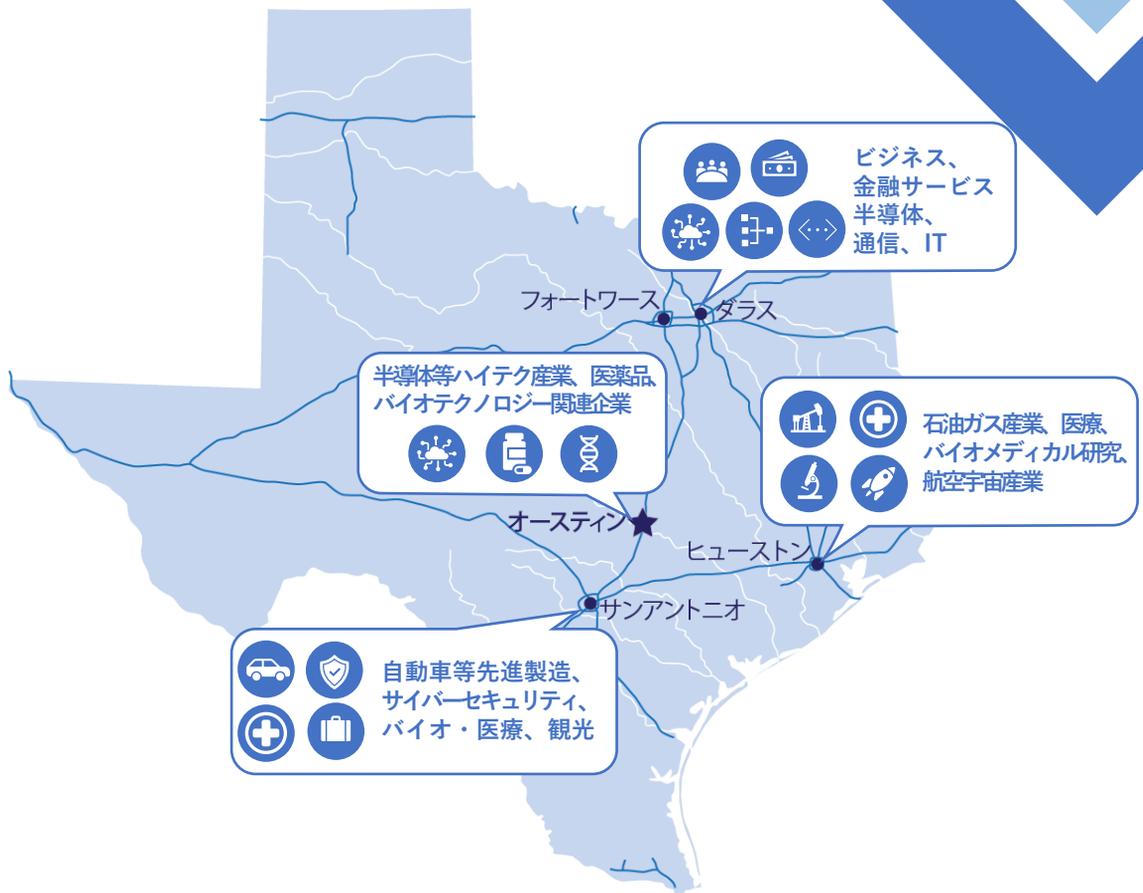
テキサス州の職業別雇用数・平均賃金（2019年5月）

職業	雇用者数（人）		平均年間賃金（ドル）	
	テキサス州	米国全体	テキサス州	米国全体
全体	12,431,200	146,875,480	50,490	53,490
マネジメント	634,640	8,054,120	119,250	122,480
ビジネス・財務	643,140	8,183,750	77,760	78,130
コンピュータ・数理	385,370	4,552,880	91,460	93,760
建築・エンジニアリング	243,980	2,592,680	96,990	88,800
自然科学、社会科学	102,540	1,288,920	74,530	77,540
コミュニティ/社会サービス	124,830	2,244,310	49,530	50,480
法務	86,420	1,150,780	103,280	109,630
教育、訓練、司書	764,970	8,886,600	51,130	57,710
アート、デザイン、エンター テイメント、スポーツ、メ ディア	141,300	2,017,810	53,940	61,960
医療・看護・技師	676,860	8,673,140	78,470	83,640
医療補助	543,430	6,521,790	26,730	31,010
保安警備	299,220	3,498,800	46,520	49,880
飲食業	1,175,750	13,494,590	23,860	26,670
土地建物清掃メンテ	340,670	4,429,100	27,250	31,250
パーソナルケアとサービス	219,120	3,303,200	28,220	31,260
販売・営業	1,262,690	14,371,410	42,030	43,060
事務/管理補助	1,820,280	19,528,250	38,810	41,040
農業、漁業、林業	23,800	484,750	29,950	31,340
建設・採掘	656,840	6,194,140	45,410	52,580
設置、保守、修理	530,380	5,713,450	48,130	50,130
生産	705,670	9,158,980	40,090	40,140
運輸・運搬	1,049,310	12,532,030	38,400	37,920

データ：米国労働統計局

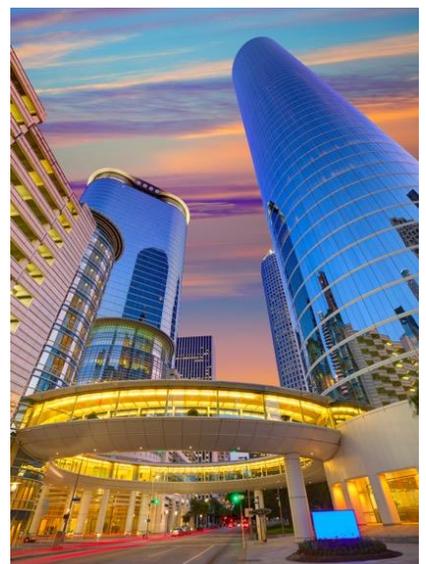
経済－主要産業

Major Industries



テキサス州経済は米国でカリフォルニア州に次ぐ経済規模を誇る。テキサス州を国に例えると経済規模はカナダを上回る世界9位に相当する。州内にはフォーチュン500の50社が拠点を構え、多国籍企業から中小まで大小様々な企業が集まっている。米国の東西の中間点に位置する地の利、さらに事業コストの割安感などから米国の他地域からテキサス州に本社機能を移す企業も目立つ（オラクル、HPE、テスラ等）。工場などの大型投資案件の発表も相次いでいる。

地域別の大まかな特徴をみてみると、州最大都市で「世界のエネルギー首都」と呼ばれるヒューストンは石油ガス産業の集積地である他、医療、バイオメディカルの研究、航空宇宙産業が発展している。州北部の大都市ダラスは幅広いビジネス、金融サービス業の中心地で、特に電子機器、コンピュータ、通信会社などIT関連企業の集積は「テレコムコリドー」と呼ばれる。州都オースティンは、「シリコンヒルズ」とも呼ばれる半導体等ハイテク産業の集積地であり、最近では医薬品やバイオテクノロジー関連企業の事業拠点として成長を遂げている。サンアントニオは米軍基地の集積から「ミリタリーシティUSA」と呼ばれサイバーセキュリティやバイオ関連企業や人材が集まる他、世界遺産アラモ砦などの観光や自動車等先進製造業でも有名である。



ヒューストンのダウンタウン

経済－主要産業

Major Industries



テキサス州の旗



テキサス州を代表する主要産業



先進製造業



航空宇宙
防衛産業



バイオテクノロジー
ライフサイエンス



エネルギー



情報産業等

テキサス州を代表する主要産業には、①先進製造業、②航空宇宙・防衛産業、③バイオテクノロジー・ライフサイエンス、④エネルギー、⑤情報産業等がある。

なお、主要産業の記載に当たっては、テキサス州知事室 経済開発ウェブサイト及び資料を参考に作成した。既に高い競争力を有する産業の他、今後の成長を見込む産業も含まれている。

経済－主要産業

Major Industries



先進製造業

Advanced Manufacturing

テキサス州では先進製造業が盛んであり、分野はコンピュータ、電子製品、電気機器、電化製品、自動車、車体、トレーラー、食品・飲料、繊維、アパレル、皮革製品、石油、化学、石炭など多岐にわたる。メキシコとの国境に接し、また東西海岸の中間点という地の利がある同州には、州間高速道路や鉄道網、国際空港、海港などのインフラが充実しており、製造業のサプライチェーンを支えている。



テキサス州の製造企業数は2万5,000社を超え、約92万人を雇用している（2019年）。同州製造業生産は全米の1割を占め、ハイテク製品の輸出額では、2020年まで8年連続全米1位である（2020年448億ドル）。州内で特にプレゼンスが大きい製造業企業の例は次のとおり。

○半導体開発製造大手：

テキサス・インスツルメンツ（本社ダラス）、サムスン電子（製造拠点オースティン）、蘭NXPセミコンダクターズ（製造拠点オースティン）

○自動車製造大手：

トヨタ（北米本社ダラス近郊のプレイノ、製造拠点サンアントニオ）、ゼネラルモーターズ（GM、製造拠点アーリントン）、テスラ（本社/製造拠点オースティン）、

○食肉加工大手：

タイソン・フーズ（製造拠点バーノン他）

○建機製造大手：

キャタピラー（製造拠点ビクトリア他）

○商業用トラック製造大手：

ナビスター（製造拠点サンアントニオ）

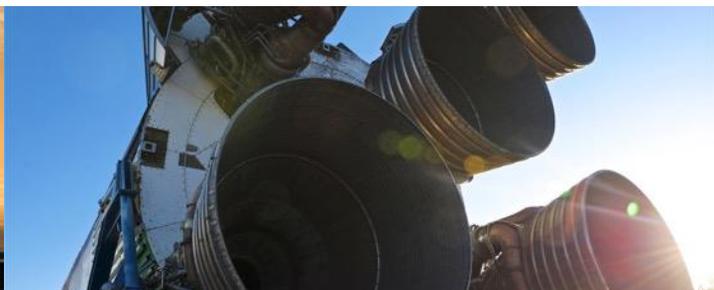
○IT：アップル（新キャンパス：オースティン〈建設中〉）



航空宇宙・防衛産業

Aerospace & Defense

テキサス州には、国際航空会社のハブ空港（ヒューストンがユナイテッド航空、ダラス・フォートワースがアメリカン航空）、15の米軍基地、米航空宇宙局（NASA）のジョンソン宇宙センター（ヒューストン）があり、航空宇宙産業の成長を後押ししている。関連産業は航空機のメンテナンスから戦闘機やヘリコプターの組み立て、ナビゲーション機器の開発、高度な宇宙飛行技術の研究、軍用パイロットの訓練、民間宇宙旅行など幅広い。



州内各地に展開する航空宇宙関連企業の例は以下のとおり。

○ヒューストン周辺

NASAのミッションコントロールセンターがあり、宇宙飛行関連企業が集積していることで有名である。

○ダラス周辺

アメリカン航空（ハブはダラス・フォートワース空港）とサウスウエスト航空（ハブはダラス・ラブ・フィールド空港）の本社がある他、航空宇宙関連製造業労働者が州内で最も多く集中している。

○サンアントニオ周辺

「米国の軍事都市（Military City, USA）」とも呼ばれ、米空軍関係者が多く働く他、軍用機の保守・修理・オーバーホール（Maintenance, Repair, and Overhaul：MRO）やサイバーセキュリティの主要拠点となっている。

○その他地域

州南端ブラウズビル近郊にはSpace Xの宇宙船打ち上げ実験場、コーパスクリスティには世界最大級のヘリコプター修理工場、その他州内にはフォーチュン500入りする航空宇宙関連企業の製造工場や大手運航支援業者（fixed base operator：FBO）、防衛関連企業、民間宇宙旅行関連企業が進出している。

経済－主要産業

Major Industries



バイオテクノロジー・ライフサイエンス

Biotechnology/Life Science

ヒューストンにある世界最大級の医療集積拠点、テキサス医療センター（Texas Medical Center：TMC）には、テキサス子供病院（Texas Children's Hospital）、テキサス大学MDアンダーソンがんセンター（The University of Texas MD Anderson Cancer Center）、ベイラー医科大学（Baylor College of Medicine）など世界トップクラスの医療機関・研究機関が集まっている。州内には13の大学に医学部があり、サムヒューストン州立大学（Sam Houston State University）のように、医学部を新設する予定の大学もある。

こうした医療機関や研究機関に加え、州内にはライフサイエンス関連企業が集まっている。医薬品卸大手マッケソンは2019年に本社をカリフォルニア州からテキサス州アービングに移転。フジフィルム・ダイオシンス・バイオテクノロジーズはカレッジステーションでバイオ医薬品の受託製造に取り組む。その他、アボット（Abbott）、ジョンソン・エンド・ジョンソン（Johnson & Johnson）、メドトロニック（Medtronic）、スイスのガルデルマ（Galderma）、ノバルティス（Novartis）などの医薬品・医療機器大手企業が進出している。



エネルギー Energy

テキサス州は、1901年にスピンドルトップ油田（Spindletop）が発見されて以来、米国内に限らず世界有数のエネルギー生産地としてその地位を確立してきた。原油、天然ガスの生産量は全米1位で、州内に張り巡らされたパイプライン網は約48万マイル（地球19周分）に上る。製油所数も全米最多で、製油の3割はテキサス州で行われている。中でも「世界のエネルギー首都（Energy Capital of the World）」と呼ばれるヒューストンにはメジャーと呼ばれる石油ガス開発生産大手からサービス企業までエネルギー関連企業4,600社が集積している。また、石油化学産業も発達しており、医薬品やコンピュータ、輸送、インフラ、日常品向けの製品などの材料となる化学製品の州内生産量は全米の5割以上を占める。

低炭素社会に向けた社会的要請が高まる中、石油ガス産業は従来型資源の安定供給のため必要な投資を継続しつつ、これまでの知見を活かした二酸化炭素回収・利用・貯蔵（CCUS）や中長期の水素製造などにも取り組む考えである。また、テキサス州は風力、太陽光、バイオマス資源など再エネが豊富にあり、特に風力とバイオディーゼルの発電量は米国最大である。同州は化石燃料からクリーンエネルギーまで幅広いエネルギー産業で全米、世界の中核にある。

テキサス州では電力市場の自由化が進み、電力価格は人口が多い大規模州の中でも最も低い州の一つである。約4分の3の送電網は、テキサス電気信頼性協議会（ERCOT）の管理の下、米国内の他地域と接続しない独立系統を構成しており、米国連邦エネルギー規制委員会（FERC）の監視の対象外にある。発電量は米国で最も大きく、第2位のフロリダ州の約2倍である。

経済－主要産業

Major Industries

情報技術 *Information technology*

テキサス州は、1967年に半導体開発製造大手テキサス・インスツルメンツ（TI）が発明した小型計算機の発祥の地であり、マイケル・デル氏がテキサス大学の学生時に設立したコンピュータテクノロジー企業デル・テクノロジーズ（Dell Technologies）の本拠地としても知られる。その他にも、マイクロソフト、オラクル、ヒューレット・パッカード・エンタープライズ（HPE）、シスコシステムズ、ナショナルインスツルメンツ、GAFGAといった大手テクノロジー企業が進出している。特にオースティン周辺は「シリコンヒルズ」（シリコンバレーと、オースティン近隣の風光明媚な丘陵をかけた造語）と呼ばれ企業集積が進む。情報通信ではAT&T、富士通ネットワークソリューションズらが集積するダラス周辺の「テレコムコリドー」が有名である。

テキサス州の大学や教育機関は、研究開発に多大な投資を行っている。ライス大学（Rice University）、サザンメソジスト大学（Southern Methodist University）、テキサス大学オースティン校（University of Texas at Austin）、テキサス大学サンアントニオ校（University of Texas at San Antonio）などは州のIT人材を育成するための様々なIT系プログラムを設けている。



経済－企業

Major Companies

テキサス州の事業所数、マイノリティ所有事業所数、 退役軍人所有事業所数（2012年）

事業所の種類	総数
事業所	2,356,748
マイノリティ所有事業所	1,070,392（事業所数比45.4%）
退役軍人所有事業所	213,590（事業所数比9.1%）

データ：米国情勢調査局

テキサス州に本社を置くFortune 500企業 上位10社（2020年）

順位	企業名	本社	業種	売上* （億ドル）
3	エクソンモービル（ExxonMobil）	アーヴィング	石油・天然ガス開発	2,649.3
8	マッケソン（McKesson）	アーヴィング	医薬品卸売・ヘルスケア	2,341.9
9	AT&T	ダラス	情報通信	1,811.9
27	フィリップス66（Phillips66）	ヒューストン	石油・ガス精製	1,095.5
32	バレロ・エナジー（Valero Energy）	サンアントニオ	石油・ガス精製	1,027.2
34	デル・テクノロジーズ（Dell Technologies）	ラウンドロック	テクノロジー製品の開発・販売	921.5
56	シスコ（Sysco）	ヒューストン	食料品卸売	601.1
59	エネルギー・トランスファー （Energy Transfer）	ダラス	原油パイプライン運営	542.1
70	アメリカン航空（American Airlines Group）	フォートワース	航空	457.6
93	コノコフィリップス（ConocoPhillips）	ヒューストン	石油開発・生産	366.7

注：売上は前会計年度（Last Fiscal Year）の数値。

出典：Fortune発表を基に作成

テキサス州に本社を置く環境エネルギー分野のスタートアップ企業の例

分野	企業名	所在	設立	概要・特徴
再エネ	コネクトジェン （ConnectGen）	ヒューストン	2018年	再エネ発電・蓄電事業者。テキサス州内の太陽光発電等、全米に事業展開
エネルギー管理	クオンタム・ニュー・エナジー （Quantum New Energy）	ヒューストン	2018年	AIを活用したエネルギー管理プラットフォームを提供
エネルギー管理	クリアー・トレイス （ClearTrace）	オースティン	2017年	ブロックチェーン技術を活用し再エネの最適利用を管理するSaaSを提供
電池	テックスパワー （TexPower）	ヒューストン	2019年	リチウムイオン電池に用いるコバルトフリー正極材を開発
水素	ユーティリティ・グローバル （Utility Global）	ヒューストン	2018年	電気を使わず熱を利用し、高効率、低コストで、水を高純度の水素を転換するシステムを開発
CCUS	カーボンフリー （CarbonFree）	サンアントニオ	2016年	セメント工場からの排ガスから重曹を製造。世界60か国で68件の特許取得
電気自動車	イー・カーラ （eCarra）	キャロルトン	2018年	テスラを利用した高級電気自動車のライドシェアサービスを展開

出典：各社ウェブサイトを基に作成

投資インセンティブ

Investment Incentives

テキサス州には、同州の雇用やイノベーションの促進に貢献する企業に対して、州政府や地方自治体が提供する競争力の高い投資インセンティブが豊富にある。以下は、テキサス州経済開発局（Department of Economic Development）金融部門を通じて提供される主なインセンティブの例である。

テキサス州政府の主な投資インセンティブ（2020年12月時点）

インセンティブ	概要
テキサス州企業基金 （Texas Enterprise Fund : TEF）	米国内最大級のディールクロージング・ファンド（deal-closing fund）と称される。この基金は、大きな雇用創出と資本投資が見込まれ、テキサス州内の1つの施設が州外の施設と競合しているプロジェクトの最終的なインセンティブとして活用されている。
イベント信託基金 （Events Trust Fund）	テキサス州において各種イベントを誘致することを目的とした基金である。テキサス州のコミュニティがイベントを開催するのに必要な費用を支援する。イベント開催により得られる税収を基金の財源としている。
テキサス州知事・ 大学研究イニシアティブ （Governor's University Research Initiative : GURI）	高等教育機関による優秀な研究者の採用を支援するマッチング・グラント。世界最高クラスの研究者をテキサス州に呼び込むことを目的としている。
テキサス州企業誘致地域 プログラム（Texas Enterprise Zone Program）	経済的に困窮している地域での民間投資と雇用創出を促進するために、プロジェクトの投資規模や雇用創出数に基づいて州の売上・利用税を最大375万ドル還付する。
製品開発および中小企業 振興基金(Product Development and Small Business Incubator Fund : PDSBI)	テキサス州で製品開発を行う企業や中小企業を対象にした長期的な融資プログラムである。このプログラムの主な目的は、新製品や改良品の開発、生産、実用化を支援し、テキサス州の中小企業の育成と活性化を図ることである。
技能開発基金 （Skills Development Fund）	テキサス州の公立のコミュニティカレッジやテクニカルカレッジに資金を提供し、地元企業に特別な職業訓練を行うことを支援するために創設されたプログラムである。研修生一人にかかる訓練のコストは平均1,800ドル程度であるが、実際の訓練補助額は申請内容に基づき決定する。
自給自足基金 （Self-Sufficiency Fund）	貧困家庭一時扶助（Temporary Assistance for Needy Families : TANF）の受給者向けの職業訓練プログラム。専門的な職業訓練を提供する公立大学または民間非営利団体に対して最大50万ドルが支給される。

出典：テキサス州経済開発局ウェブサイトを基に作成

投資インセンティブ

Investment Incentives

テキサス州の主要な経済開発組織および商工会議所・経済団体等は以下のとおり。

経済開発組織

地域	経済開発組織	商工会議所
テキサス州	テキサス州経済開発局 (Texas Economic Development) テキサス州経済開発公社 (Texas Economic Development Corporation)	テキサスビジネス協会 (Texas Association of Business)
ヒューストン	ヒューストン市経済開発部門 (Economic Development - City of Houston)	グレーター・ヒューストン・パートナーシップ (Greater Houston Partnership : GHP)
ダラス	ダラス市経済開発局 (City of Dallas Office of Economic Development)	ダラス地区商工会議所 (Dallas Regional Chamber : DRC)
オースティン	オースティン市経済開発部 (City of Austin's Economic Development Department)	オースティン商工会議所 (Austin Chamber of Commerce)
サンアントニオ	サンアントニオ市経済開発部 (City of San Antonio Economic Development Department) テキサス・サンアントニオ地域開発連合 (greater SATX: Regional Economic Partnership)	サンアントニオ商工会議所 (San Antonio Chamber of Commerce)

出典：各組織のウェブサイト



高等教育／特許

Higher Education / Patent

主要大学

テキサス州には多数の大学ある。U.S.News & World Reportの2021年大学ランキングにおいて、テキサス州で上位10校に入った大学は次のとおり。

大学 (注)	順位
ライス大学 (Rice University, Houston)	16位
テキサス大学オースティン校 (University of Texas at Austin, Austin)	42位
南メソジスト大学 (Southern Methodist University, Dallas)	66位
テキサスA&M大学 (Texas A&M University, College Station)	66位
ベイラー大学 (Baylor University, Waco)	76位
テキサス・クリスチャン大学 (Texas Christian University, Fort Worth)	80位
テキサス大学ダラス校 (University of Texas at Dallas, Richardson)	143位
ヒューストン大学 (University of Houston, Houston)	176位
テキサス工科大学 (Texas Tech University, Lubbock)	217位
北テキサス大学 (University of North Texas, Denton)	249位

注：カッコ内は英語表記と所在地

出典：U.S. News & World Report 2021を基に作成

ライス大学

ライス大学は、1912年に設立された私立大学であり、ヒューストン市中心部にキャンパスを構える。社会科学部、人文科学部、自然科学部などを含む8つの学部より構成されている。大学院は、ジョーンズ・ビジネス・スクール (Jones Graduate School of Business) やジョージ・R・ブラウン・エンジニアリング・スクール (George R. Brown School of Engineering)、建築学科、音楽学科などが著名である。同大 James A. Baker III Institute for Public Policyは全国的に知られた公共政策シンクタンク。同大アスレチックチームであるライスアウルズ (Rice Owls) は、全米大学体育協会 (National Collegiate Athletic Association : NCAA) ディビジョンIに14種類の競技で属しており、特に野球チームは強豪で名が通る。



ライス大学

テキサス大学オースティン校

テキサス大学オースティン校 (UT Austin) は、1883年設立の州立大学。2018～2019年度の学生数は5万1,832人で、専攻数は学部が156、大学院が170以上。学部生は約4万人 (2020年秋学期)。学部数は18。大学院プログラムではビジネススクール (McCombs School of Business)、エンジニアリングスクール (Cockrell School of Engineering)、看護学科の評価が高い。ビジネススクールでは特に会計、ビジネス分析が全米トップクラス。同大ビジネス学部長だったジョージ・コズメツキー教授が同大付置機関として1977年に地域経済開発のシンクタンクIC² Institute、1989年にインキュベーターAustin Technology Institute (ATI) を設立。両機関は現在も地域のイノベーション創出で重要な役割を担う。



テキサス大学オースティン校

高等教育／特許

Higher Education / Patent

コミュニティカレッジ

テキサス州における高等教育機関では最も入学者数が多い。2019年秋季入学者を見ると、コミュニティカレッジが最多の47%で、これに公立4年制大学の41.6%が続いた。

コミュニティカレッジは地元企業と協力して、将来地元経済に貢献できる人材育成に注力している。テキサスコミュニティカレッジ協会（Texas Association of Community Colleges：TACC）は、州議会と協力して、同州全域に亘るコミュニティカレッジサービス地域での学生教育を向上させる政策の促進に取り組んでいる。テキサス州におけるコミュニティカレッジと民間企業による提携の例として、IT大手アマゾンが2019年9月、ダラス郡コミュニティカレッジ学区と共に、クラウドコンピューティングの準学士号取得のためのプログラムを提供すると発表した。このプログラムには、人工知能やゲームなどの新しい技術に関する60単位のコースが含まれている。この他にも、ベルヘリコプター、JPモルガン、ロッキードマーチン、ライオンデルバセル、テスラ、テキサス製造業者協会など州内の企業、団体が産業パートナーとしてTACCの活動を支えている。

特許数

州別特許取得件数で、テキサス州はカリフォルニア州に次いで第2位につけており、全米を代表するイノベーション創出地域のひとつとなっている。

テキサス州ダラス市のダウンタウンには、全米4カ所にある米国特許商標庁の支部の1つ、テキサス・リージョナル・オフィス（Texas Regional Office：TXRO）が2015年に開設した。所管地域はテキサス州のほか、アラバマ州、アーカンソー州、ルイジアナ州、ミシシッピ州、ニューメキシコ州、オクラホマ州、テネシー州。

同オフィスは、これらの地域におけるイノベーションを促進し、経済を刺激するため、発明家や起業家向けの政府のリソース紹介や、学生や教員向けの科学・技術・工学・数学（STEM）教育プログラムの実施などに取り組んでいる。

米国特許取得件数州別ランキング （上位10位、2019年1月1日～12月31日）

順位	州	件数
全米計	—	186,118
1位	カリフォルニア州	50,667
2位	テキサス州	13,426
3位	ニューヨーク州	10,837
4位	ワシントン州	9,097
5位	マサチューセッツ州	9,030
6位	ミシガン州	8,307
7位	イリノイ州	6,467
8位	フロリダ州	5,543
9位	オハイオ州	5,356
10位	ニュージャージー州	5,203

データ：米国特許商標庁



スタートアップ

Startups

テキサス州のスタートアップ企業を支援する主な組織は以下のとおり。

組織（本社）	概要
●● Capital Factory （オースティン）	起業家を支援する州内著名VC兼アクセラレーター。コワーキングスペースなどを提供。2019年には20万人以上の起業家、プログラマーらを支援。
● Tech Ranch （オースティン）	オースティンをはじめ世界中の起業家を支援するアクセラレータ。これまでに起業家6,500人以上、750のソリューションの実用化を後押し。
● Austin Technology Incubator（オースティン）	テキサス大学オースティン校の付置機関として1989年設立のインキュベータ。Deep techを強みとしイノベーションの実用化を支援。
● Silverton Partners （オースティン）	2006年設立の州内著名VC。2019年のベンチャー投資は18億4,000万ドルを記録した。投資額は年々増加傾向。
● The Ion （ヒューストン）	ヒューストンのイノベーション中核施設として、ライス大学が設置したアクセラレータ。ヒューストン市やマイクロソフト、インテルが連携しスマートシティ関連起業家を支援するアクセラレーションプログラムなど。
● Greentown Labs （ヒューストン）	北米最大級の気候変動関連テック・インキュベーター「グリーントウンラボ」のヒューストン拠点。創設パートナーには、石油大手シェブロンやシェル、電力大手NRGエナジーなどエネルギー関連大手らが参画。
● Texas Research Technology Foundation（サンアントニオ）	地域の生命科学技術分野の経済開発を目的に1983年に設立されたりサーチパーク。McDermott Legacy Fundを通じてVC投資を行う。
●● EPIcenter （サンアントニオ）	CPSエネルギーから電力関係企業が2015年に設立したインキュベータ兼アクセラレータ。主にエネルギー関連スタートアップを支援。
● Sevin Rosen Funds （ダラス）	1981年設立のVC。投資は200件以上。2015年に次世代型テレビ会議システムのVidyoが1,500万ドルの資金を調達したシリーズE投資に参加。
● RevTech （ダラス）	2011年設立のVC。電子商取引や消費者嗜好分析、サプライチェーン管理等、小売分野に特化した技術へのVC投資に注力。

●VC ●アクセラレーター ●インキュベーター

出典：各組織のウェブサイト

“ロンスター州*で開発された技術は我々が生きる世界を変えるものである。（中略）

イノベーション・ルネサンス

が続くためには、新規の投資を呼び込み、テキサス州を地元とするすべての企業、人々にとって機会が最大限になるよう、ビジネス環境をよくすることが重要である。

*州旗のロンスター（一つ星）からテキサス州を意味する

”
*テキサス州の愛称
2020年1月
テキサス州 グレグ・アボット知事
イスラエル訪問時、現地イノベーション関連施設訪問の際の発言
出典：州知事室

ライフスタイル Lifestyle

生活基本データ（調査期間：2015～2019年）

生活基本データ	テキサス州	米国全体
世帯所得（中央値、ドル）	61,874	62,843
住宅価格（中央値、ドル）	172,500	217,500
家賃（中央値、ドル）	1,045	1,062
持ち家率（%）	62.0%	64.0%

データ：米国情勢調査局

人気居住エリア

テキサス州では、ヒューストン、ダラス、サンアントニオ、オースティンなどの大都市圏の人気は高いものの、これらの郊外で生活する人が増えている。例えば、ダラスの北に位置するフリスコ市（Frisco）は、米国で過去10年間に最も急成長した都市の一つで2020年の人口は約20万500人と、2010年比で71%増加した。フリスコ市は個人金融情報サイトWalletHubの2020年米国急成長都市ランキング（Fastest-Growing Cities in the U.S.）でテキサス州最高の6位となっている。他にも各都市圏周辺には教育水準が高く、買い物にも便利な人気の新興住宅街が増えている。



オースティン北部郊外、ラウンドロックの住宅街

日本関係コミュニティ

テキサス州には商工会、日米協会、日本人会等が日本関係の団体が多数存在する（例：ヒューストン：ヒューストン日本商工会、ヒューストン日米協会、グレーターヒューストン日本人。ダラス：ダラス日本人会（商工会機能は日本人会内の商工部会）、ダラスフォートワース日米協会。オースティン：オースティン・ジャパン・コミュニティ、グレーターサンアントニオ日米協会。サンアントニオ：サンアントニオ企業会、サンアントニオ日米協会。その他エルパソ日本人会、マッカーレン商工会議所など）。ヒューストン、ダラス、オースティン、サンアントニオには日本語補習校もあり、進出日系企業駐在員家族を対象に週末、日本語による授業が行われている。



オースティンの高速道路

交通

テキサス州は日常生活において自動車依存度が非常に高い。米国情勢調査局によると、2015年から2019年におけるテキサス州の16歳以上の住民の通勤手段は車、トラック、バンを一人で運転が80.5%、車、トラック、バンの相乗りが10%、公共交通機関（タクシーを除く）が1.4%、徒歩が1.5%の順であった。特にヒューストン、ダラス、オースティンなど大都市圏周辺では平日の朝、夕の通勤時間帯に渋滞が激しくなるため、予定を立てる際には留意が必要である。

ライフスタイル

Lifestyle

テキサス州は緑あり、砂漠あり、海あり、川ありと、あらゆる自然の景色を楽しむことができる。東部一帯は針葉樹の深い森林に覆われ、西に向かうにつれ徐々に樹木が低くなっていく。州中央近くの州都オースティンの周辺はテキサス・ヒル・カントリーと呼ばれる低木が茂る石灰岩質の丘陵地帯となり、ワインの産地としても有名だ。さらに西部に向かえば年間降雨量がほとんどない荒涼とした砂漠地帯が広がる。同じ州とは思えないほど多彩な自然、景色に遭遇する。古代からネイティブアメリカン、テキサス独立戦争、テキサス共和国、南北戦争、西部開拓時代、政治や軍事などの近現代史まで非常に豊かな歴史に彩られている。洗練された芸術、文化もあふれ、見どころは尽きない。



ビッグ・ベンド国立公園

自然公園

テキサス州西部に位置するビッグ・ベンド国立公園、テキサス州北部アマリロ郊外のパロ・デュロ・キャニオン州立公園、オースティン近くにあるコロラド・ベンド州立公園、エルパソに近いフランクリンマウンテン州立公園など。州中央部は古代の海岸線であったこともあり、恐竜の足跡をみることができる（The Heritage Museum of the Texas Hill Country、Dinosaur Valley State Park）

博物館／美術館／史跡等

歴史から科学、芸術まで州内各地には一流施設、史跡が多数あり、魅力が尽きない。（例 ヒューストン：スペースセンター・ヒューストン、ヒューストン自然科学博物館、ヒューストン美術館、サンジャシント古戦場跡。ダラス：ダラス美術館、シックスフロア博物館（ケネディ大統領暗殺現場）。オースティン：ブロック・テキサス州歴史博物館、LBJ大統領図書館。フォートワース：キンベル美術館、ストックヤーズ（ロデオ競技会場）。サンアントニオ：世界遺産アラモをはじめとする教会群。コーパスクリスティ：空母レキシントン博物館。アビリーン：西部開拓博物館フロンティア・テキサス！など。



スペースセンター・ヒューストン

スポーツチーム

米国4大スポーツが揃い、全米でも有名なチームが多い。ヒューストン・アストロズ（Houston Astros：MLB）、テキサス・レンジャース（Texas Rangers：MLB）、ダラス・カウボーイズ（Dallas Cowboys：NFL）、ヒューストン・テキサズ（Houston Texans：NFL）、ダラス・マーベリックス（Dallas Mavericks：NBA）、ヒューストン・ロケッツ（Houston Rockets：NBA）、サンアントニオ・スパーズ（San Antonio Spurs：NBA）、ダラス・スターズ（Dallas Stars：NHL）など。

住民気質

一般的に、テキサス州は土地が広大で温暖な気候のため、住んでいる人々も、明るくて、気さくである。また、資源や土地に恵まれていて、多くの産業が潤っているため、裕福でおおらかな人が多いと言われる。メキシコから独立した1836年から合衆国に併合される1845年までの9年間、テキサス共和国として独立していたこともあり、州民は米国人というよりも、テキサス人（Texan）であることに強い誇りを持っている。テキサス共和国の旗であり、現在の州旗のローンスタールはテキサスへの強い帰属意識の表れとして州内至るところで掲げられている。

A large graphic element on the right side of the page. It consists of a thick blue horizontal bar that transitions into a diamond-shaped geometric pattern. The pattern is composed of several concentric, interlocking lines in shades of blue and white, creating a stylized, maze-like or labyrinthine design.

JETRO

ジェトロ・ヒューストン事務所
1221 McKinney Street, Suite 4141,
Houston, Texas 77010, U.S.A.
E-mail: inqu-hou@jetro.go.jp

写真：引用記載が無いものはShutterstockの素材を基に作成。Images used under license of Washington CORE with Shutterstock.com.

制作協力 Washington CORE, L.L.C